

9月定例会

9月定例会では各会計補正予算案10件、条例案等19件及び委員会提出議案1件の計30件の議案等の審議を行い、いずれも原案可決されました。

本会議では、3名から議案質疑が行われ、また、8名から市政全般についての一般質問が行われました。

その主な内容は、次のとおりです

議案質疑

一般会計補正予算(第2回)

自民クラブ

道前クリーンセンターの修繕料の内容は？

問 道前クリーンセンターの修繕に、5千200万円を要するに至った経緯を問う。

今後大規模な修繕が必要になることがあるのか。

答 今回の修繕は、施設の大きな故障等によるものではなく、ダイオキシン対策としてごみ焼却炉に設置している、「ろ過式集塵装置(バグフィルター)」の「ろ布」を交換しようとするものである。



ろ布を交換するバグフィルター

ごみ焼却炉1炉のバグフィルターには400本の「ろ布」が入っており、その交換時期が到来したため、2炉分800本の「ろ布」を取り替えるものである。交換に当たっては、日常業務に支障を来たすことのないよう、毎年実施している定期

点検の際に合わせて行う予定としている。

なお、今後の大規模修繕については、故障等が生じない限り、実施の予定はなく、ごみ焼却炉の運転管理をじゅうぶんに行うことで、修繕経費の削減に努めたい。

無党派

池の内遺跡発掘調査の公表方法と財源は？

問 池の内遺跡発掘調査事業は、飯岡地区の埋蔵文化財包蔵地「池の内遺跡」内で計画されている開発事業に伴い、発掘調査を実施するものであるが、この遺跡がどのような文化的価値を有し、この地域にどのような歴史が刻まれているのか、遺跡の発掘調査にはさまざまな興味が湧き起こる。発掘調査における遺跡出土の状況を多くのかたと共有するため、現地見学会の開催や出土品の展示・保存活用が望まれるが、どのように考えているのか。また、この事業の財源は何か。



MH冷凍システム(テストプラント)

答 調査内容は、写真展等によって市民に公表していきたい。また、現地を調査しながら、可能であれば現地見学会も実施したい。

なお、本事業の財源は、全額開発事業者からの受託収入である。

日本共産党西条市議団

MH冷凍システムの事業内容と成果は？

問 大学と連携した地域づくり助成事業のMH冷凍システム等活用事業について、事業内容、これまでの成果、市民への還元についての考えを

問う。

⑧ MH冷凍システム：MH(水素吸蔵)合金と工場廃熱・地下水を利用し、省エネ・低環境負荷を実現する冷凍システム

答

本事業は、(助)地域総合整備財団から事業の3分の2以内の助成を受けて実施する、産・学・官の連携事業である。今年度は、MH冷凍システムの再構築と、管理運営の委託料及び実験研究用の先進的なビニールハウスの導入経費を計上している。

これまでに、西条市の条件に合うMH冷凍機的设计や開発実験を行い、第一次産業への応用を図る研究開発を進めている。今回は大学の専門家等と連携し、新しい農業生産システムを開発しようとするものである。これにより、農業所得の増加や地域の特色ある第一次産業の構築を目指しており、その成果は、多数の市民に還元されることになる。

